



# 日本屈指のスイマーが パースで活躍

パースで開催されている『AQUATIC SUPER SERIES』の第3回大会が、1月30日～2月1日にかけてパースのhbfスタジアム、スワン川で開催された。競泳、オープンウォーター、水球の3種目が行なわれたこの大会に、日本チームは日本水泳連盟から競泳とオープンウォーター種目に40名以上の日本を代表するトップスイマーを送り込んだ。水球種目への日本チームの参加はなかったが、競泳種目においては世界の強豪選手と国別対抗ポイントで争った。

情報提供・協力：BHP Billiton Aquatic Super Series / 公益財団法人 日本水泳連盟



オーストラリア水泳連盟が主催し、2013年からパースで開催されている『AQUATIC SUPER SERIES』。競泳、オープンウォーター、水球の3種目が行なわれ、競泳では国別対抗戦として今年はアメリカ、オーストラリア、中国、日本の4ヶ国が参加。各レースに各国代表選手2名が出場し、レース結果の上位の選手に高ポイントが与えられ、国別に集計され、順位を争う。また、オープンウォーターでは500m～10kmの各種コースが、パース市内のエスプラネード沿いに流れるスワン川に設置され、個人種目として争われる。

